

セキュアで安定性の高いIoTシステムの運用を支え、IoTでつながる社会の価値を高める「JP1 for IoT - デバイス管理」

IoT^{*1}の活用で課題解決やサービス創出を実現しようという機運が高まるなか、日立は効率的なIoTデバイスのセキュリティ対策や稼働管理を支援する「JP1 for IoT - デバイス管理」を販売開始。IT分野で長年培われた技と知恵が、IoTシステムの安定稼働を支援します。

*1 Internet of Things

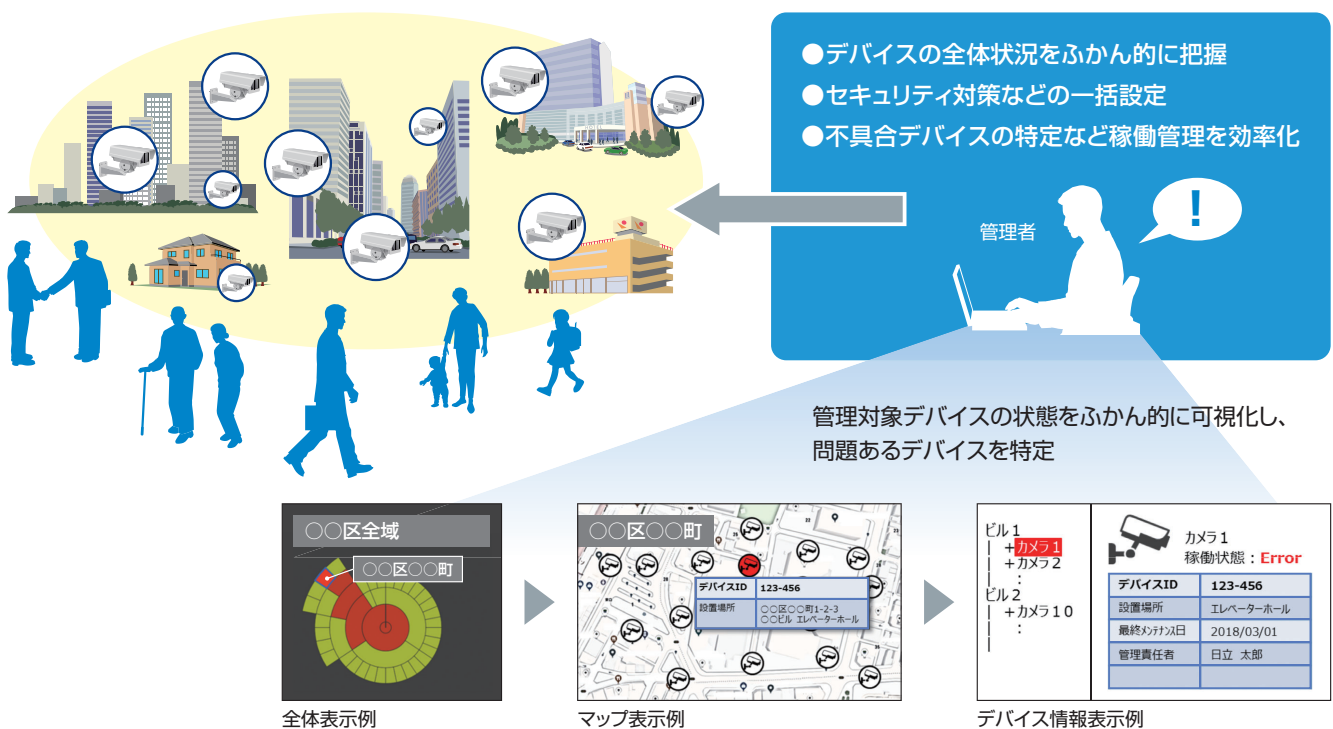
■ 四半世紀にわたって蓄積した「JP1」のノウハウをIoTに

さまざまなモノがインターネットを介してつながり、データ送受信、遠隔制御、遠隔監視などにより業務革新や高付加価値サービスなどを生み出すIoT。“IoT元年”といわれた2017年以降、多くの企業がさまざまな実証実験を通じてその有用性の検証に取り組んでいます、一部には本番適用へ向けた動きもあり、いまやIoTは本格化時代へ進みつつあります。

このように本格化するIoTへの期待が高まる一方で、IoTデバイスのぜい弱性を狙った攻撃の増加など、セキュリティに関する懸念も深まっています。ネット

ワーク上の膨大なIoTデバイスに対するサイバー攻撃やウイルス感染が引き起こす、大規模障害や情報漏えいなどは、IoTがもたらす恩恵を揺るがしかねない深刻なリスクです。

そうしたセキュリティリスクへの的確な対応が求められるなか、日立はIoTデバイスのセキュリティ対策と稼働管理を担う「JP1 for IoT - デバイス管理」をリリース。この製品は1994年の発売以来、企業の多様なIT環境を多彩な管理機能でサポートしてきた統合システム運用管理「JP1」の定評ある高度な技術とノウハウをIoT領域に適用しています。



「JP1 for IoT - デバイス管理」の概要 (IoTを活用した広域なデジタルサービス事業への適用イメージ)

■ 政府も本腰を入れ始めたIoTのサイバーセキュリティ

2019年2月20日、総務省は国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)とともに、セキュリティのぜい弱なIoT機器の調査とユーザーへの注意喚起の取り組み「NOTICE」^{※2}をスタート。さらに2020年4月からは、IoTデバイスへの不正アクセス防止機能などの搭載が同省により義務づけられることになりました。

もはや待ったなしともいえるIoTセキュリティ対応強化の動きに対して、JP1 for IoT - デバイス管理は、次の3つのアプローチで効率的なセキュリティ対策と稼働管理を実現します。まず1つ目が「IoTデバイスのふかんな監視」です。IoTクラウドサービスなどを経由してさまざまな設置環境におけるIoTデバイスの情報を収集し、その状況をふかんに監視できるため、障害箇所の特定や影響範囲の把握といった目的別の確認作業が可能になります。そして2つ目が「セキュリティアップデートの一括実行」です。これによって、IoTデバイスに対して設定パラメータの更新やファームウェアアップデートなどの一括処理を実現します。3つ目が「IoTデバイスのリモート監視と自動通知」で、これにより設置場所や状態を遠隔から把握し、不具合発生時のIoTデバイスの特定や自動通知によって稼働管理を効率化できるのです。

※2 National Operation Towards IoT Clean Environment

■ 広がるIoTのフィールドと重要性を増すデバイス管理

生産性や品質の向上、コスト最適化など、お客さまの持つ課題を解決するために、さまざまな場面でIoTの活用が進み、より高い価値を提供するサービスが登場し始めています。例えば、自動車や自転車などのシェアリングサービス、各種のスマート家電など、ネットワークにつな

がることによって、そこから収集したデータを活かし、よりよいビジネス、より快適な暮らしを実現するためのサービスやソリューションに、IoTが活用されるようになっていきます。IoTが日々の業務や生活に密接に関わりを持つにつれて、サービスを支えるシステムのセキュリティや稼働の安定性は、ますます重要さを増していきます。工場やビル、オフィスなどの限られた空間にとどまらず、一人ひとりの住まいから街や都市、交通機関、社会インフラなどのパブリックな空間におけるIoTを適切に管理し、運用することが求められます。

JP1 for IoT - デバイス管理は、IoTの導入検証段階から本番適用を想定する段階において、そしてこのようなIoTのあり方の進化に合わせて、ITで培った運用管理の知見と技術を活かし、セキュアで効率的なIoTの運用管理を実現していくための多彩な機能を提供します。

■ オープンに連携しながらLumadaの価値協創を支える

JP1 for IoT - デバイス管理を第1弾として、日立はIoTの進展に応じて必要となるさまざまな運用管理を支援する「JP1 for IoT」の製品およびサービス群を順次リリースしていく予定です。そしてその取り組みの中で、IoT分野で豊富な知見を有する複数のパートナー企業とオープンに連携するエコシステムを構築し、これまでにない新たな価値を提供するソリューションを実現していきたいと考えています。

長きにわたってITの世界で鍛え抜かれた技と知恵のエッセンスを、IoTの明日のために——。動き始めたIoT本格化時代に向けて、JP1 for IoTがお客さまやパートナー企業との協創を推進し、デジタルイノベーションを加速するLumadaを支えていきます。

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 アプリケーションクラウドサービス事業部
<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/product/jp1IoT/>

